

# 第 37 回海外投融資委員会議事要旨

## 1. 日時

2016 年 2 月 18 日(木)16:30～17:30

## 2. 場所

国際協力機構本部 6 階役員会議室

## 3. 出席者

(海外投融資委員会委員)

長島副委員長、赤木委員、赤羽委員、荒木委員、川口委員、小木曾委員、柴田委員、千賀委員、前田委員

## 4. 議事・報告

「中東・北アフリカ支援ファンド」(出資事業) 審査後審議

## 5. 議事の要旨

「中東・北アフリカ支援ファンド」(出資事業) 審査後審議

事務局より説明を行い、下記の点について委員より意見が出された。

1. 上記事業は、中東・北アフリカ地域の企業・事業に対する投資を通じ、投資先の企業の成長を通じた雇用創出及び民間投資を促進、同地域の平和と安定への貢献が期待される重要な事業である。不安定な地域情勢により民間投資が進まない中で、同地域で豊富な投資実績を有する IFC との連携により JICA が本事業に参加することで、同地域への民間投資の呼び水効果が期待されるなど、機構が支援する意義が認められるところ、海外投融資による支援を実施することは妥当と考える。
2. 助言委員会での積極的な発言や定期的なファンド側との協議を通じ、出資後も JICA として本ファンドへの適切な関与を行い、海外投融資による協調の可能性を含む目的・成果の達成に向けた対応を行うことが必要。
3. 中東・北アフリカ地域では、若年層を中心とした高い失業率をはじめ、難民や社会的弱者といった地政学的・文化的影響もある中、雇用創出が大きな課題。一方、本事業では投資対象となるセクター・企業により雇用創出効果が間接的な発現に留まる場合もあるため、むしろ包括的な開発効果を訴求していくことが必要。

以上